

『東アジア近代史』第26号 2022年6月

《特集》大戦間期の東アジアにおけるメディア

特集にあたって 島田 大輔・高山 慶隆

始政記念日＝体育デー」のメディア・イベント

—朝鮮人の「併合」への参加と動員— 趙 相宇

日中YWCAの交流と葛藤

—『女青年』『女子青年界』の考察— 石川 照子

大戦間期における外地言論空間の多層化

—文官総督時代の台湾と新興メディア— 谷川 舜

コメント

平山 昇・武藤秀太郎

《歴史資料セッション》保存公開資料と歴史研究者の役割

趣旨文—セッションの開催に寄せて— 岩壁 義光

売られ散逸した私文書の来歴とその行方

—太田宇之助および宮村三郎（林銑十郎）旧蔵史料を中心に—

島田 大輔

舞鶴引揚記念館所蔵資料のユネスコ世界記録遺産への登録について

—歴史を知り、学ぶ場としての歴史博物館— 黒沢 文貴

《東アジア近代史学会創立二五周年特別企画3》

座談会 東味近代史学会を語（下）

—本学会創立後から現在までの歩み—

《研究ノート》

二一カ条要求第五号（第一・四項）の作成・交渉過程について

《書評》

中谷直司・林雄介・櫻井良樹

《活動報告》

《予告》2022年第27回研究大会予告

『東アジア近代史』 ゆまに書房（TEL03-5296-0491）発売（本体価格 2,500円）